

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 藤商事

コード番号 6257 URL <http://www.fujimaruken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 當仲 信秀

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

TEL 06-6949-0323

平成23年12月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	22,038	101.7	4,443	—	4,490	—	2,665	—
23年3月期第2四半期	10,928	△47.7	△308	—	△245	—	△205	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	10,704.94	—
23年3月期第2四半期	△807.66	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	52,725	42,803	81.2
23年3月期	48,258	40,710	84.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 42,803百万円 23年3月期 40,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2,250.00	—	2,250.00	4,500.00
24年3月期	—	2,250.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2,250.00	4,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	56.1	2,000	—	2,000	—	1,200	—	4,820.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	254,955 株	23年3月期	254,955 株
24年3月期2Q	6,000 株	23年3月期	6,000 株
24年3月期2Q	248,955 株	23年3月期2Q	254,955 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページから3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成23年11月7日(月)にアナリストおよび機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や円高の長期化により、企業業績の低迷や個人消費の冷え込みに加え、雇用情勢の改善では足踏みが続くなど、景気は依然として厳しい状況にあります。

パチンコホール業界におきましては、平成22年のパチンコ参加人口が前年比50万人減少の1,670万人となり、市場規模は1兆6,850億円減少の19兆3,800億円となりました（(財)日本生産性本部「レジャー白書2011」）。パチンコ遊技機では、1円パチンコに代表される低貸玉営業で一定の集客効果をあげているものの、従来からの営業形態での集客や稼働は伸び悩みを見せており、収益面では厳しい状況が続いております。

このため、遊技機の購入につきましても慎重な姿勢が続いており、安定稼働が見込める機種に需要が集中いたしました。

一方、パチスロ遊技機では、人気機種を中心として、パチンコホールでの稼働は堅調に推移しております。

このような状況のもと当社は、遊技機のスペック、演出方法、ゲーム構成の充実と向上など、長期間の稼働を実現する要素の追求とともに、幅広いファン層に対応した販売ラインナップの充実に取り組んでおります。パチンコ遊技機につきましては、著名版權とのタイアップ機種のほか、前事業年度発売機種のシリーズとして手軽に安く遊べるタイプなどを追加販売しました。

これらの取り組みにより、各機種ともに当初の計画を上回る販売台数となり、特に、「CRリング 呪いの7日間」シリーズにつきましては、パチンコホール導入後、稼働面などの好評価により、追加受注をいただいております。

パチスロ遊技機におきましては、第2四半期に1機種を発売し、販売活動は順調に推移しました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高220億38百万円（対前年同期比101.7%増）、営業利益44億43百万円（前年同期は営業損失3億8百万円）、経常利益44億90百万円（前年同期は経常損失2億45百万円）、四半期純利益26億65百万円（前年同期は四半期純損失2億5百万円）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

（パチンコ遊技機）

パチンコ遊技機につきましては、「CRゲゲゲの鬼太郎 妖怪頂上決戦」シリーズ（平成23年4月発売）、「CR八丁堀の七人」シリーズ（平成23年6月発売）、「CRリング 呪いの7日間」シリーズ（平成23年7月発売）のほか、前事業年度発売機種のシリーズとして手軽に安く遊べるタイプなど（CR新暴れん坊将軍 不死身の闇鳥）を発売しました。

以上の結果、販売台数は67千台（対前年同期比96.6%増）、売上高215億20百万円（同96.9%増）となりました。

（パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機につきましては、「マジカルスロット魔法少女隊アルス」（平成23年8月発売）を発売しました。

以上の結果、販売台数は1千台、売上高5億18百万円（前年同期は0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

総資産は、前事業年度末に比べ44億66百万円増加し、527億25百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が53億87百万円、受取手形及び売掛金が22億92百万円増加したことなどに対し、原材料及び貯蔵品が16億21百万円、有価証券が7億11百万円減少したことなどによりです。

負債は、前事業年度末に比べ23億73百万円増加し、99億21百万円となりました。

これは主に、未払法人税等が16億88百万円、買掛金が4億39百万円増加したことなどによりです。

純資産は、前事業年度末に比べ20億93百万円増加し、428億3百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の増加などによりです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ53億87百万円増加し260億62百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、64億17百万円（前年同期は34億39百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、税引前四半期純利益46億64百万円、たな卸資産の減少額20億18百万円、法人税等の還付額10億99百万円などが増加の要因であり、売上債権の増加額22億92百万円などが減少の要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4億70百万円（前年同期は3億17百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入16億円などが増加の要因であり、投資有価証券の取得による支出13億23百万円、有価証券の取得による支出8億1百万円などが減少の要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、5億59百万円（前年同期は5億74百万円の資金の減少）となりました。

これは、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年9月26日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、現在精査中であり、第3四半期以降の見通しが明らかになった時点で、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,674	26,062
受取手形及び売掛金	2,260	4,553
有価証券	1,909	1,197
商品及び製品	430	33
原材料及び貯蔵品	4,468	2,846
前渡金	2,964	3,662
繰延税金資産	1,716	1,378
その他	1,568	174
貸倒引当金	△5	△10
流動資産合計	35,987	39,897
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,166	2,082
機械及び装置（純額）	509	435
工具、器具及び備品（純額）	745	1,133
土地	4,357	3,778
その他（純額）	61	57
有形固定資産合計	7,839	7,487
無形固定資産		
投資その他の資産	211	183
長期前払費用	2,262	1,981
その他	2,210	3,446
貸倒引当金	△253	△271
投資その他の資産合計	4,219	5,157
固定資産合計	12,270	12,827
資産合計	48,258	52,725

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,540	4,979
未払法人税等	—	1,688
未払消費税等	—	395
賞与引当金	237	421
その他	1,293	994
流動負債合計	6,070	8,478
固定負債		
退職給付引当金	751	758
その他	724	684
固定負債合計	1,476	1,442
負債合計	7,547	9,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,258	3,258
利益剰余金	34,663	36,768
自己株式	△486	△486
株主資本合計	40,716	42,821
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5	△17
評価・換算差額等合計	△5	△17
純資産合計	40,710	42,803
負債純資産合計	48,258	52,725

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,928	22,038
売上原価	5,894	11,350
売上総利益	5,034	10,687
販売費及び一般管理費	5,343	6,244
営業利益又は営業損失(△)	△308	4,443
営業外収益		
受取賃貸料	36	8
利用分量配当金	16	7
受取ロイヤリティー	22	9
還付加算金	—	35
その他	31	29
営業外収益合計	107	90
営業外費用		
シンジケートローン手数料	24	22
賃貸収入原価	12	12
その他	6	8
営業外費用合計	43	43
経常利益又は経常損失(△)	△245	4,490
特別利益		
固定資産売却益	0	181
貸倒引当金戻入額	20	—
特別利益合計	20	181
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	15	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
特別損失合計	59	7
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△283	4,664
法人税、住民税及び事業税	63	1,650
法人税等調整額	△141	348
法人税等合計	△77	1,999
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△205	2,665

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△283	4,664
減価償却費	1,247	954
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△60	184
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△100	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2	6
受取利息及び受取配当金	△16	△14
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△181
固定資産除却損	15	7
売上債権の増減額 (△は増加)	4,201	△2,292
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,045	2,018
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△140	378
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△168	30
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,155	195
未払金の増減額 (△は減少)	△1,153	△365
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18	395
その他	△377	△706
小計	△2,035	5,299
利息及び配当金の受取額	22	21
法人税等の支払額	△1,425	△3
法人税等の還付額	—	1,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,439	6,417
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△999	△801
有価証券の償還による収入	1,700	1,600
投資有価証券の取得による支出	△446	△1,323
有形固定資産の取得による支出	△518	△653
有形固定資産の売却による収入	0	751
無形固定資産の取得による支出	△45	△25
その他の支出	△10	△22
その他の収入	2	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317	△470
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△574	△559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△574	△559
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,330	5,387
現金及び現金同等物の期首残高	26,398	20,674
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,068	26,062

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。